

地方が輝くために 総合計画の意義を考える

恵庭市総合計画シンポジウム 平成26年8月29日

北海道大学公共政策大学院 小磯修二

はじめに

- ・ 恵庭市総合計画の策定 市民と共に目指すまちの姿を考える挑戦

1 地方の視点から

- ・ 地域開発政策とは 特定地域開発 格差是正（空間の平等）
- ・ 市場メカニズム 一極集中構造へ 大都市重視、強化の政策に
- ・ 地方の視点に立った主張と戦略を 分析力に裏打ちされた政策形成力（図-1,2）

2 総合計画とは何か

- ・ 地域戦略の見取り図 総合行政の展開 長期の指針 財政調整システムが内在
- ・ 「総合」の難しさ→タテ割り構造の中での調整力
- ・ 「長期」の難しさ→分析力、洞察力による説得力ある政策構築
- ・ 北海道の特性とは 「奇跡の地域開発」 その要因、背景は 総合計画と総合行政
- ・ 政策形成力の劣化 質の高い地域データ、分析力の伝統が衰退 白書 観光満足度

3 市民と共に

- ・ 市民参加の意義と難しさ アセスメント パブリック・インボルブメント（P I）
- ・ ①内容の明確化、②意思決定過程への組み込み、③対象者別に照準、④決定の各段階への関与、⑤関心のレベルに応じた参加機会の提供、⑥政策決定への実感、⑦内部組織への配慮

4 人口減少に向き合う

- ・ 「消滅」「限界」を超えた知恵と洞察力
- ・ 全体成長の幻想、システムからの脱却 恵庭市民の感性
- ・ 行政サービス水準を引き下げることへの挑戦と市民との丁寧な会話 独の経験から

5 地方が輝くために

- ・ 地域づくりの目指す目標とは 所得、雇用、利便、環境→定住意識（地域満足度）
- ・ 経済全体の縮小 内発力の醸成 産消協働運動への挑戦：地域内連関力の強化
- ・ みんなで一緒に取り組むことの意義、多世代交流、つながりの大切さ
- ・ 「ひとりではみんなのために」

図-1

地方の視点から日本の経済構造を考える

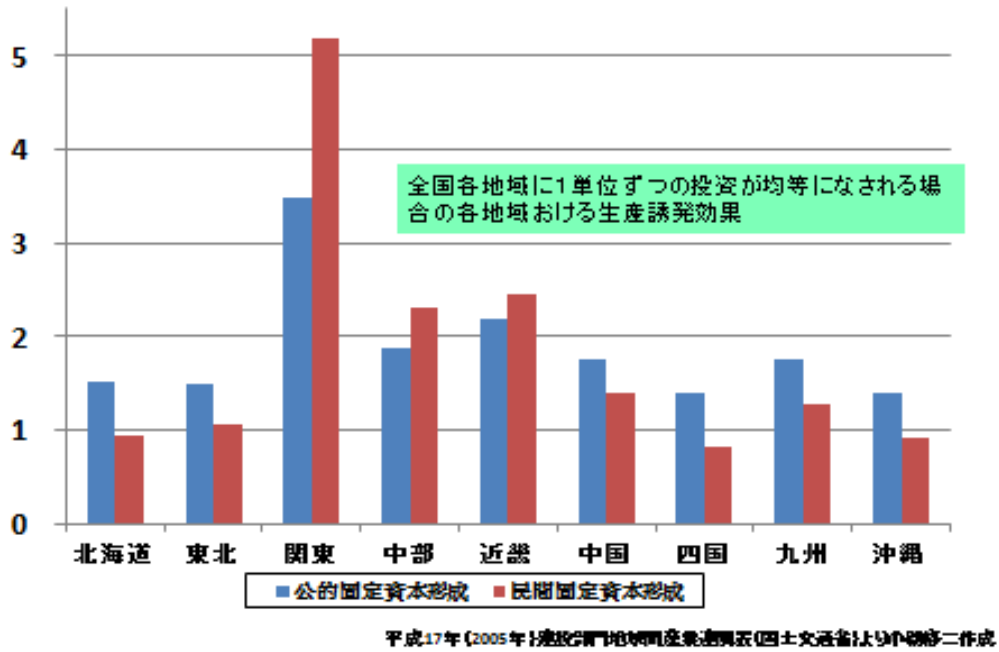
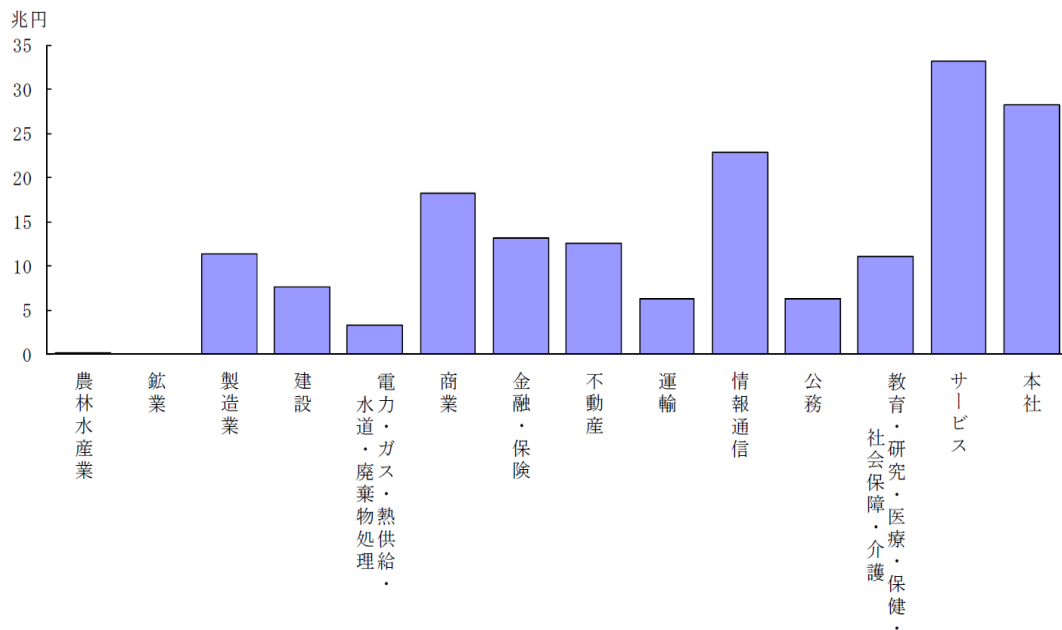


図-2

図2 産業別生産額



東京都産業連関表(平成20年)延長表より